

平成27年 春季号

# 農業委員会だより

仙台市

発行日 平成27年5月1日

編集と発行

仙台市農業委員会

仙台市青葉区国分町三丁目7番1号

TEL 022(214)4308(直通)



宮城野区地区振興委員会

### 「地区振興委員会」を開催しました

2月17日(火)から24日(火)までの日程で、各区ごとに農業委員、業務推進員、認定農業者の出席により、平成26年度第2回目の地区振興委員会を開催しました。

はじめに、公益社団法人みやぎ農業振興公社の職員の方より、「農地中間管理事業」について情報提供をしていただき、質疑応答の後、地域農業振興に関する意見交換が行われました。

出席した皆様からは、農地集積について、「田だけでなく畑も積極的に行ってほしい。」「10年も貸し付けると水路の維持管理等がおろそかになり、集落の崩壊につながるのでは。」「1枚の田に複数の地権者が入る組み田の扱いが難しい。」「J.Aの利用権設定と競合している。」などの意見が出されました。

このほか、獣害対策や違反転用への指導方法、開発の際に農業者の意見を伝えてほしいなど、さまざまな意見、要望が寄せられました。

農業委員会では、今後とも積極的に農家の皆様のご意見等を伺う場を設け、建議・要望等を通じて農政に反映していくよう努めてまいります。

第29回通常総会を開催しました

4月17日(金)に仙台市農業委員会第29回通常総会を開催し、平成27年度業務計画等が決定しました。

■業務方針

我が国の農業・農村は食料自給率の低迷、農業者の高齢化・担い手不足、農業所得の大幅な減少、農山村の活力の低下など厳しい状況が続いている。

国においては、農地中間管理事業をはじめ経営所得安定対策や米政策の見直しなど、農業・農村政策の大幅な改革が進められており、農地の確保と有効利用、遊休農地の解消、農地の利用状況調査、担い手への利用集積など、実際に農地制度を運用する農業委員会の役割と責任がますます重要なものとなっている。

一方、現在、行政・地域・農業関係団体連携のもとに東日本大震災からの復旧・復興に向けた取り組みが進められているところであるが、今後とも、農業委員会としては、真の農業復興を実感できるようになるまで、地域農家の声を

一人ひとりの農業者を応援する「農業者年金」



集約しながら地域再生のために活動していかねばならない。

このような中、我々農業委員は農業者の代表として期待される役割を十分に果たすため、業務推進員及び地域農業者と連携を図りながら、取組目標と具体的活動を定め、委員会活動の一層の強化と実効性ある地域活動を積極的に推進するものである。

このため、重点取組目標として、  
第一に「地域活動の充実・強化」、  
第二に「担い手の育成・確保」、  
第三に「優良農地の確保と有効活用」を掲げ、地域農業の持続的な発展に資するよう全力で対応を行うものである。

また、具体的な活動として、地区振興活動による認定農業者、生産組織等の担い手の掘り起こしと育成、担い手に対する農地の利用集積、遊休農地の調査と指導、違反転用農地の是正指導、遊休農地の解消に向けた取り組みなどを実施するものである。

■業務計画

〔一般活動〕

- ・ 担い手の育成、担い手に対する農地の利用集積等
- ・ 地区振興活動の推進
- ・ 農業者年金の加入促進
- ・ 意見の公表及び建議

〔農地行政活動〕

- ・ 利用権設定等促進事業、農地中間管理事業
- ・ 遊休農地の調査と指導
- ・ 農地移動適正化あっせん事業
- ・ 農地の違反転用防止対策

〔農政活動及び農業振興推進活動〕

- ・ 認定農業者、女性農業者等との懇談会の開催
- ・ 担い手の育成・確保を図るための活動
- ・ 農業経営改善支援活動
- ・ 遊休農地解消活動
- ・ 農作業標準料金の策定

農業委員選挙のお知らせ

6月14日(日)は農業委員会委員一般選挙の投票日です。

- 投票できる方⇒農業委員会委員選挙人名簿に記載されている方
- 投票時間⇒午前7時～午後8時
- (一部投票所は午後6時まで)

投票所入場券⇒告示日以降、投票となつた場合に、世帯ごとに郵送します(入場券が届かなかつたり、紛失された場合でも、投票所でも本人であることが確認できれば投票できます)。その他選挙についての日程は次のとおりです。

◆期日前投票◆

期間⇒6月6日(土)～13日(土)  
時間⇒午前8時30分～午後8時  
(土・日曜日含む)

会場⇒お住まいの区の区役所または総合支所

◆立候補予定者説明会◆

日時⇒5月19日(火)午前10時30分～  
(受付は午前10時～)  
会場⇒市役所8階ホール  
※お問い合わせは、仙台市選挙管理委員会まで

(2144-2023)

農地法第3条、第4条、第5条の許可申請書類の締切が毎月20日に変更になりました

平成27年4月1日から、農地法に関する宮城県知事の権限に属する事務の一部が農業委員会へ事務委任されたことに伴い、農業委員会への許可申請（農地法第3条、第4条、第5条）の手続きの締切日が毎月20日となりました。

市街化区域内の農地転用届については、従来どおり毎月10日、20日、月末締切で変更はありません。

ご不明な点は、農業委員会事務局までお問い合わせください。

(214-4340)

農業者年金を受給している皆様へ

5月中旬に現況届の用紙が郵送されます。6月1日(月)から30日(火)までの間に、農業委員会または最寄りのJA仙台各支店に、持参または郵送で現況届の提出をお願いします。

現況届の提出がない場合は、提出されるまでの間、年金の支払いが停止する場合がありますので、ご注意をお願いします。

農地の情報がインターネット等で閲覧できるようになりました

農地法の改正に伴い、平成27年4月から、市街化区域を除く農地の情報の一部について、(1)インターネット、(2)農業委員会の窓口で公表しています。

公表する項目は、農地の所在地、地目、面積、耕作者ごとの整理番号等になります。インターネットでの公表は、全国農業会議所のホームページ(<http://www.alis-ac.jp>)での公表になります。

ご不明な点は、農業委員会事務局までお問い合わせください。

(214-4353)

8月10日から農業委員会事務局はMSビルに移転する予定です

8月10日(月)から、仙台市役所二日町仮庁舎(青葉区二日町1-23 MSビル6階)に移転予定です。電話番号は変わりません。詳しくは市政だより7月号でお知らせいたします。

売り渡しあっせん(希望農地一覧)

農業振興地域の農用地区域内において、農地の経営規模の拡大、集団化等農用地保有の合理化を図るため行うあっせん事業です。

◆あっせん事業による農地の買い受け申し出が出来る方

- ① 認定農業者の方
- ② 仙台市内で130アール以上耕作している方

区	所在地			地目	面積(m <sup>2</sup> )	区	所在地			地目	面積(m <sup>2</sup> )	区	所在地			地目	面積(m <sup>2</sup> )									
	大字	小字					大字	小字					大字	小字												
青葉区	芋沢	田尻	田	2,745	若林区	下飯田	遠十丁	田	1,011	若林区	三本塚	中条浦	田	3,521												
			田	866				田	1,956				田	241												
	大倉	西田	田	422		田	3,628	種次	中野東		田	929	藤塚	三十刈	田	1,450										
			田	1,654		田	4,124				田	786			田	245										
	岡田	新浜東	通東	田		2,851	荒井	境東	田		2,291	松岡	田	2,439	日辺	畑田	畑	773								
				田		1,027					田			2,548			田	2062	畑	271						
				田		2,821					田			2,439			田	1,748	田	2,058	袋原	定野西	田	1,740		
				田		2,981					田			2,570			田	2,875	柳生	田中	田	1,000				
		上岡	田前	田		2,968		神屋敷	西		田	1,748	太白区	袋原	定野西	田	1,740	秋保町長袋	並木	田	6,281					
						田						2,061					田				2,058	実沢	上	田	4,156	
田					1,695	田				2,570		小					松ノ木				田	1,533	上	原崎	田	1,359
田					2,062	田				2,875		野村					上野前				田	3,826	堤	下	田	2,746
岩切	昭和	西	2,061	神屋敷	北	田	2,570	泉区	上谷刈	長	命	田	3,804	野村	田	2,013										
			田				1,695						田			2,875	野村	田	2,020	野村	田	2,020				
			田				2,062						田			2,875	野村	田	2,941	野村	田	2,020				
			田				1,100						田			4,524	野村	田	2,941	野村	田	2,020				
大正	手	田	3,050	富岡	内	田	4,524	泉区	野村	上野前	田	3,826	野村	田	2,013											
			田				3,050					田			3,063	野村	田	2,020	野村	田	2,020					
			田				3,050					田			3,063	野村	田	2,941	野村	田	2,020					
			田				1,110					田			6,539	野村	田	2,941	野村	田	2,020					
小鶴	新境	田	1,441	平	石	田	6,539	泉区	野村	上野前	田	3,826	野村	田	2,013											
			田				1,441					田			14,764	野村	田	2,020	野村	田	2,020					
			田				3,050					田			3,858	野村	田	2,941	野村	田	2,020					
			田				3,050					田			1,595	野村	田	2,941	野村	田	2,020					
鶴ヶ谷	新境	田	3,050	軽	石	田	6,539	泉区	野村	上野前	田	3,826	野村	田	2,013											
			田				1,441					田			1,651	野村	田	2,941	野村	田	2,020					
			田				3,050					田			1,651	野村	田	2,941	野村	田	2,020					
			田				3,050					田			1,651	野村	田	2,941	野村	田	2,020					
蒲生	元谷	田	932	一本	杉	北	14,764	泉区	野村	上野前	田	3,826	野村	田	2,013											
			田				308					田			3,858	野村	田	2,941	野村	田	2,020					
			田				1,468					田			1,595	野村	田	2,941	野村	田	2,020					
			田				1,468					田			1,595	野村	田	2,941	野村	田	2,020					
沖野	北門	田	2,062	大南	長	沼	1,595	泉区	野村	上野前	田	3,826	野村	田	2,013											
			田				3,998					田			2,473	野村	田	2,941	野村	田	2,020					
			田				3,998					田			2,473	野村	田	2,941	野村	田	2,020					
			田				1,031					田			1,422	野村	田	2,941	野村	田	2,020					
若林区	下飯田	遠十丁	田	1,031	今泉	久保	東	1,031	泉区	野村	上野前	田	3,826	野村	田	2,013										
			田	1,031				田					2,062			野村	田	2,941	野村	田	2,020					

※売り渡し希望価格等の詳しい情報をお知りになりたい方は、農業委員会事務局事務課農地係(電話214-4340)までお問い合わせください。http://www.city.sendai.jp/news/2014/business/1217263\_2396.html

# あなたの出番です

太白区中田4丁目にお住まいの  
 おだじま ひろこ  
**小田嶋 紘子**さん  
 にお話しを伺いました。

## 農家のお生まれですか？

**A** 農家のお生まれです。会社員の家庭で育ったので、農業に関する知識はほとんどありませんでした。結婚して農業に携わるようになってから、経験することは、とても新鮮なことでばかりです。

## 農家に嫁いだきっかけは？

**A** 農家に嫁ぐという意識はあまりなく、結婚した相手がたまたま農家だった、というのがきっかけです。



## 農業についてどう思いますか？

**A** 「食」という生活の中の最も基本的な部分に関わっている、やりがいのある職業だと思います。また同時に、質の良い安全な食物を消費者へ提供することについて、大きな責任のある仕事だと感じています。

## あなたの楽しみは？

**A** 夫婦で美味しいものを食べるに色々なお店へ行くことや、旅行に行くことです。

## これからの夢は？

**A** 自分たちの作った農産物をより多くの方々に手に取っていただき、美味しいと思ってもらえるようになることです。新鮮で質の良い野菜を提供できるよう、今後も努力していきたいと思っています。

(聞き手…佐藤昭幸委員)

# がんばっています

宮城野区福田町

なかさと たかし  
**中里 聖**さん

私が農業に興味を持ったのは、実家が農家ということもあります。私が父を多くの面で目標にしているからです。

高校は父の通っていた宮城県農業高等学校に入り、様々な農業に触れました。卒業後は宮城県を離れ、



拓殖大学北海道短期大学環境農学科に入りました。そこで北海道の農業を学び、県外の農業に携わる仲間と知り合うことができました。

特に北海道では、夏に農家の家に住み込みでの農業研修があり、北海道の大規模農業を体験できたのは凄く良い刺激になりました。

現在、私の家では、約七町歩の水田をメインに農業を行っています。また昨年からは、視野を広げるため地元のJA青年部に入り、冬場には無人ヘリコプターの資格を取得しました。

青年部では、地元の諸先輩がたや同年代の農業を志す仲間と出会い再会し、様々なことを勉強しています。無人ヘリも同様に諸先輩がたに勉強をさせてもらいながら、地元の水田の空中散布はもちろんのこと、機会があれば県外の散布にも連れて行ってもらっています。その中で、散布終了後に食べるご飯が一番の楽しみです。私は食べ歩きが趣味なので、行く土

地土地のご飯を食べるのを毎回楽しみにしながら、仕事をしています。

農業という仕事は環境を相手にしているもので、毎年違った顔を見せてきます。その中で最善の策を見極め、実行するのが農業という職だと私は思っています。

今の私には、見極めも実行力もそれに加え農業に関する知識も不十分ですが、父や諸先輩がたや仲間達から技術を学び吸収し、私に合った農業形態を確立することが今の目標です。そしてゆくゆくは、地域貢献型の農業ができればと思います。

(担当…赤間敬委員)

## 編集後記

日々暖かさが増している今日この頃、今年も田植作業が始まりました。農機具の事故には十分注意して、秋にはずつしりと重い粉が出来ることを願いたいと思います。

さて今回、仙台市農業委員会、たよりが県にて優良賞を獲得いたしました。今後とも農業者との架け橋にと頑張りたいと思います。

(副編集委員長 松原菊男委員)

